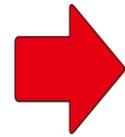


Before

リフォーム情報

After



外壁
・
屋根の
塗装工事



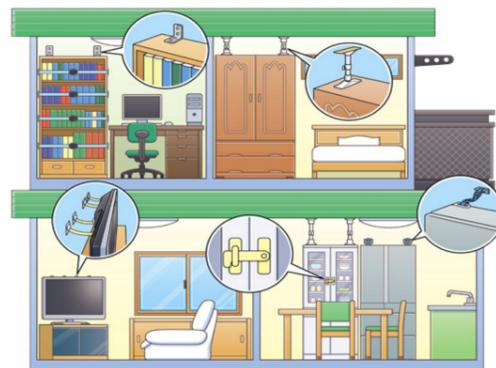
大切な家のメンテナンス

創業110年の信頼と実績 太田工業株式会社 ☎0120-552-448

家具の置き方、工夫していますか？

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- ・家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- ・寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ・手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。



首相官邸ホームページより抜粋

編集後記 いつまでも暑い日が続いた10月でした。これも温暖化の影響なのでしょう？ 猛威を振った新型コロナウイルスの感染も下火になってきました。

地区内の歴史ある建物も改修が必要になってきているようです。地域の由緒ある建築物を後世へ引き継ぐ事は私たちの大切な役目だと思います。一口に引き継ぐと言っても、日頃からの準備が重要、何年後かの改修に備えて、計画的な備蓄を心掛たいものです。

国内に残される城、多くは戦国時代に建てられ、その後改修や戦火による消失など数奇な運命を辿った城も多くあります。こうした城の石垣を調査すると、全国各地の城の石垣に使われていた石が積まれているそうです。リユースされているのですね。古い物を大切に使う事は、歴史ある建造物を守る事にも繋がっているのですね。



汚れた身心を
自覚すると
新しい勇気が生まれる
能満寺

第183号2021年11月1日発行

地域情報紙・チャオチャオわいわいクラブ!!



太田工業株式会社

〒400-0824 甲府市蓬沢町1146 ☎233-6588 fax 235-4809
https://www.ota-kogyo.com 発行人 太田文三 編集人 落合洋子

天満天神社の玉垣が修復されました～七沢町～

令和3年4月御幸祭りの準備中、社を囲む石垣が、歪んでいる事に気づき、調べてみたところ、杉の根が社の下に入り込んでいる事が原因と分かりました。植物の成長が歴史ある社に大きな被害を与える前に修繕しようと、氏子総代が中心となり自治会からの協力を得ながら、玉垣修復工事に至りました。



修復工事が完了しました



これまで使われていた玉垣を丁寧に外し基礎の部分から改修します



玉垣を持ち上げていた木の根自然の力を感じます。



大正11年建立の石鳥居



玉垣を外し、基礎の石垣を積み直しました。

社の石積みの下に樹木の根が入り込み石積みの一部を押し上げていた為、根の除去作業も同時に行われました。

鎮座地：甲府市七沢町31 御祭神：菅原道真公 例祭日：1月15日 境内地：470坪
由緒沿革：甲斐国社記に「天神社、山梨郡七沢村、本殿六尺七尺、拝殿式間三間、華表一ヶ所、古社地堅三拾間横式拾間、社地堅四拾壱間横拾壱間（451坪）」と記されています。慶長八年の黒印状によるものと思はれ、嘉永2年 山梨郡飯富村の大工棟梁若尾嘉兵衛によって、拝殿が建立されました。七沢町の故河野敏男氏が残した記録「昭和33年10月8日天満天神社 本殿再建の由来」（河野金哉さん提供）に記されています。（慶長八年=1603年・徳川家康が江戸幕府開府した年）

玉垣がいつ倒れるかもわからない状態でしたので、氏子総代総意の上、住民の方々にご寄付を募り、立ち入り禁止の看板を立て、事故につながらないよう対策し、10月に修復工事が完了しました。

長年の風雪と大木の根が入り込むという自然の力により崩壊寸前でしたが、七沢町の皆様のご協力により工事が完了、心よりに感謝いたします。

天満天神社氏子総代 河野金哉 長田武彦 米倉洋男 中込達夫の4氏 （河野金哉さん談）

弊社は、1912年に太田塗装店として甲府市舞鶴城近くの桜町に誕生しました。昭和48年に現在の蓬沢町に移転し、以来この地にて建築仕上工事を行っています。「チャオチャオわいわいクラブ」は地域貢献として毎月1日、五味新聞店様のご協力により玉諸地区へ3000部、山梨日日新聞の折り込みでお届けしています。どうぞお楽しみください。

創業110年の信頼と実績 塗装・リフォーム 太田工業株式会社 ☎0120-552-448

地域情報紙チャオチャオわいわいクラブは太田工業株式会社が取材・編集・発行をしています。

～甲府水害の歴史～【kofu500より抜粋 甲府水害の歴史より】

明治43年8月9日から10日にかけて甲府は大洪水となりました。濁流は荒川橋、飯豊橋、千秋橋を押し流し、相川も飯田橋付近で決壊。濁川、藤川も氾濫し市の南西部、東部に大きな被害がでました。春日小学校（現・舞鶴小）、遠光寺などが避難所になり、多くの人命を救いました。甲府市の全戸数の3分の1にあたる3367戸が床上、床下浸水の被害が出ました。



(現・相生1丁目)

大正年間から昭和初期は比較的大きな水害はなかったのですが昭和の戦争期に山林の乱伐が行われたことで水害の被害が多くなりました。昭和10年9月21日から26日の台風の大雨は降水量490ミリに達し荒川が各所で決壊。長松寺橋、千松橋、千秋橋が押し流されました。山宮、千塚、池田方面での被害が多かった。昭和20、22、23、24、25年と、終戦からは毎年のように水害が起きました。

昭和34年は山梨県を直撃した2つの台風がありました。台風7号と台風15号（伊勢湾台風）8月14日朝、台風7号は甲府盆地を北上。瞬間最大風速43.2mを記録し甲府は戦災に次ぐ大被害を受けました。死者5名 家屋全壊365戸 家屋半壊1746戸 床上・床下浸水1075戸 屋根を飛ばされた家6112戸 水田埋没56ha 水田冠水2100ha 罹災者2063 世帯8984人被害総額12億3600万円。



(善光寺)

修理工事中の善光寺は傾き足場が組み立てられていたため、かろうじて倒壊は免れたが9月26日復旧を進めている中、伊勢湾台風に襲われました。被害 家屋全壊60戸 家屋半壊167戸 床上・床下浸水87戸 一部破損6260戸 銀座通りのアーケードはその風雨の勢いのために降り曲がる被害が出ました。



昭和41年7月22日。甲府を集中豪雨が襲いました。わずか2時間半余りの間に北部山岳地で400ミリを超える雨量となり、相川が氾濫した。



死傷者58人、家屋全壊25棟、床上浸水1486棟。被害総額は43億7千万円。復旧作業には特別出動の自衛隊を始め、自治会、婦人会、学生、市職員全員にあらゆる団体機関があたり、普及作業に精をだしたと記録されています。

【明治天皇の御下賜】

明治44年3月11日、災害救済のために明治天皇は山梨県内にある天皇家所有の土地である御料地のほとんどを県民の暮らしの復興のため、本県に御下賜されました。これが現在山梨県の面積の3分の1を占める県有林の基となっています。明治天皇の御下賜を感謝する事と共に、明治に起きた大水害の歴史を後世に伝えるために謝恩碑（謝恩塔）が甲府城。舞鶴城公園に3年の歳月をかけ大正8年完成しました。

2回に渡り甲府市の水害被害の歴史を少しでも紹介しましたがいかがでしたでしょうか・・・現在に至りましても玉諸地区は水害被害に見舞われやすい地形です。甲府市水害ハザードマップに記されている玉諸地区は想定浸水が住宅1階から2階が水没する場所が多いので、天気予報で大きな被害が予測された場合、早めに非難行動をとる事が大切です。



🎖️ 受賞 おめでとうございます 🎖️

甲府市体育功労者表彰受賞

令和2年度：茂原 俊浩さん（西高橋・玉諸地区スポーツ協会常任理事兼スポーツ推進委員）
令和3年度：花井富士夫さん（国玉町・玉諸地区スポーツ協会常任理事兼専門部長）

令和3年度山梨県母子保健功労者表彰

令和3年度：原 徳男さん（里吉町・玉諸地区愛育会会長）

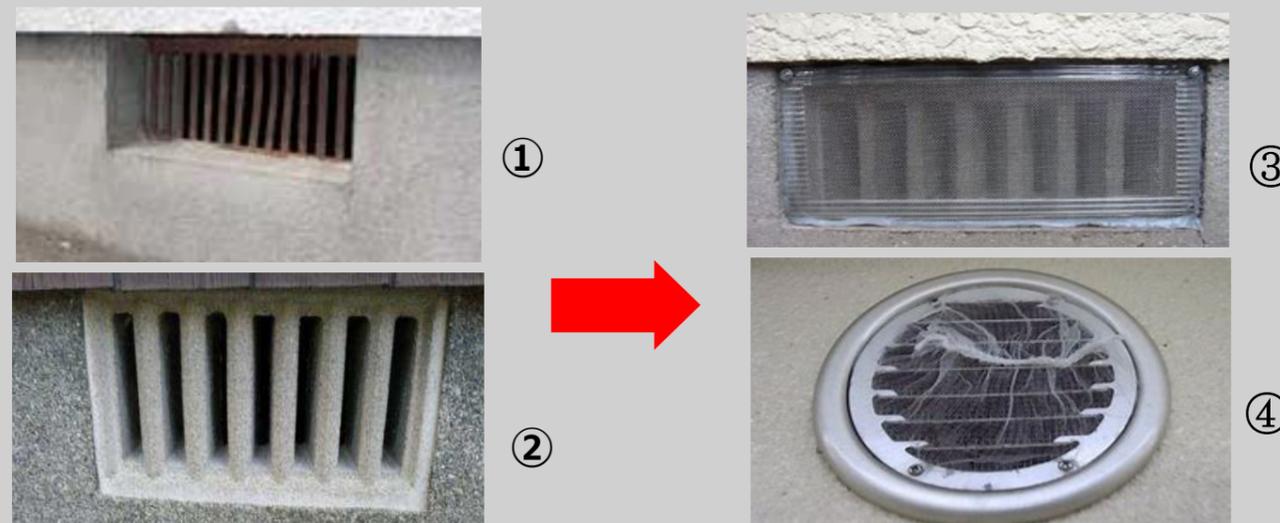
県民表彰受賞

令和3年度：天野 光江さん（蓬沢町・甲府市男女共同参画推進委員会委員長）

玉諸地区の皆様の表彰等を随時紙面でご紹介して参ります。皆様からの情報提供承りますのでご一報下さい。

住宅の換気口の点検をしましょう

換気口が写真①・②の様に格子の隙間が大きい場合、蜂や害虫が床下に侵入してしまいます。写真③・④の様に網やネットを換気口に張る事で蜂や害虫の侵入が防げます。



住宅の換気口や破損した箇所からシロアリ・蜂・ハクビシン・蛇・アライグマなどが侵入してきます。定期的に点検し予防に努めましょう。

御見舞い申し上げます

10月12日（火）未明に発生致しました蓬沢1丁目の火災では尊い御命が失われてしまいました。ご家族様に心よりお見舞いとご悔やみを申し上げます。また、ご近所の皆様にお見舞い申し上げます。